

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 5 日

仕事の内容	民間学童保育所運営補助金事業費			
担当部署・課長名	青少年	課	青少年育成	係 課長名 新海 隆弘

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	2 - 4	-
【施策名】 児童福祉の推進		総合計画書 (ページ)	59	
予算名	款 3 民生費	項 2 児童福祉費	目 7 学童保育所日	事業 2 民間学童保育所運営補助金事業費

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 民間学童保育運営団体	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 団体数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 運営団体が適切な運営ができる状態	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 団体数
	③ そのために何をしましたか。 補助金の支出	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 補助金の支出額

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	団体			1		
	成果指標	②の数値	団体			1		
	目 標	②の目標値						
		目標値設定の考え方						
	活動指標	③の数値	円			18,242,300		

3 経費	事業費(実績)		円			18,242,300	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円					
		特定財源	円			33,782,000		
		(うち受益者負担)	円					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人					1.0
		所要人数(再任用)	人					
		職員人件費(再任用以外)	円					8,244,000
	職員人件費(再任用)	円						
	事業費+人件費	円	0	0	26,486,300			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成30年4月より開所した民間学童の運営団体が、適切な運営を行うため。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
	当初の予定入所人数よりも、実際の入所人数が少ないため、予定補助金額よりも減額した補助金額を支出した。

仕 事 の 内 容	民間学童保育所運営補助金事業費			
担当部署・課長名	青少年	課	青少年育成	係 課長名 新海 隆弘

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	無し			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	平成30年度からの実施事業の為、対象外			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	平成30年度からの実施事業の為、対象外			
8 今後の方向性	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	平成30年度からの実施事業の為、対象外			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	平成30年度からの実施事業の為、対象外			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
平成30年度からの実施事業の為、対象外				
(3)改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。
9	上半期終了時点の状況（平成31年9月末記入）			
10	平成32年度に向けた方向性（平成31年9月末記入）			